

で、仕上がりにブレがない。ここに満足度が高い理由がある。

「一般的なモデル住宅は公開してしばらくすると販売します。しかし、うちのモデル住宅は違います。木造建築のすばらしさを伝えたいから、ずっと私たちが手入れをしながら公開し続けています。時を経て陳腐化しない、本物の素材を使った150年ものモデル住宅です。」

「ハウスランド社」が考える本物の素材とは、時を経ても美しい表情の素材、または時を重ねるほどに味わいや美しさを増す素材のこと。最初の費用はやや高くても、本物の価値は色褪せないことが、この「風のくら」を訪れたらよくわかる。そして、日本の古民家がどれほどの可能性に満ちているかを確信して、ワクワクしてくるだろう。住まいにも自分のスタイルを追求する方は、ぜひ訪れてみてほしい。



格子戸や色ガラスを配した引き戸など、建具はすべて造作。アールを描いた室内窓やアイアンの細工も人気が高い

仕上がりに自信。満足度が高い理由

「風のくら」の引き戸を開けると、まずカフェのような広い土間空間に圧倒される。床にはイタリア製のセラコッタタイルが敷き詰められ、高い天井にはシックなシャンデリアが灯り、長い時間を経てきた東西のアンティーク家具がよく似合う。

靴を脱がずにゲストをもてなすことができるこの土間スタイルの空間は、外から訪れた人を歓迎するオープンさを持ちながらも、プライベートな空間とはきっちり一線を引くことができる、便利な仕様。新築やリノベーションで取り入れる人が増えているという。

「ここまで広い空間でなくともいいんです。たとえば土間スタイルの広めの玄関を確保して、個々の部屋へ自由にアクセスできるように設計しても面白い。昔の民家の土間は寒くてジメジメとした印象でしたが、今は素材が良く、しっかりと断熱材を入れて温度や湿度を管理できるので快適ですよ。」

もちろん、古民家は1軒1軒もとの家が違うため、リノベーションを検討する際に「うちの場合もこんなステキな家になるんですか？」と不安になる人も多い。しかし、「ご安心を。『ハウスランド社』はこの『風のくら』をはじめ、モデル住宅で使っている素材をそのまま実際の施工でも使うの

家をオープンにする土間空間。



AFTER

リノベーション前の玄関も土間だったが、地面から伝わる冷気や湿気の影響で寒く、常にジメジメとした印象だった。今は断熱材やタイルを用いて冷気や湿度をシャットアウト

Model House

古民家再生 住宅展示場
「風のくら」
福岡県筑紫野市大字山口2122番地

古民家再生モデル住宅
和の家「吉木」
福岡県筑紫野市大字吉木344-1

Company Data

株式会社 ハウスランド社
吉木事務所
福岡県筑紫野市大字吉木344-1
TEL 092-922-8771 <http://www.h-land.jp>



母屋の裏の蔵もフルリノベーション。1階は照明やタイルのショールーム、2階は屋根裏を活かしたオーディオルーム。どちらも経年美を感じる空間で、訪れた人を魅了する



ブルーの輸入タイルを用いた造作の洗面台。[ハウスランド社]のデザインの引き出しの多さを物語る



キッチンから蔵へと続く裏口の様子。タイルの貼り方や色ガラスの取り入れかたにご注目を



機能的なシステムキッチンは意外にも古民家の柱や梁と相性がいい。この他、こだわりの素材を使ってすべて造作のキッチンをつくらせることもできる



BEFORE